

はじり 羽尻村庄屋中嶋家文書

当該史料は豊岡市の南西部に当たる阿瀬溪谷を有する旧羽尻村の庄屋を務めた中嶋家に伝わった村文書を中心とします。

中嶋家は羽柴秀吉の但馬攻めで、村岡から逃れ羽尻村に移住した弥右衛門を初代とします。10代目以降は新右衛門を称し、文書の寄附を受けた新作氏で20代を数えました。

羽尻村は羽尻を本村とし、^{かばた}河畑・^{かなや}金屋・^{わけお}分尾・^{わかばやし}若林・^{きんざん}金山の5つの枝村を含む広大な区域に、金銀の鉱坑が点在し、江戸時代には阿瀬金山・銀山として栄えました。

史料の整理・撮影は、豊岡市立歴史博物館を主体に、松下正和氏（神戸大学地域連携推進本部特命准教授）の指導を受けながら、とよおか市民学芸員の会の有志の協力により続けられ、今回、整理作業の完了したものを公開することとなりました。

末筆ながら、関係者に対して謝意を表します。

【問い合わせ先】

豊岡市観光文化部文化・スポーツ振興課文化財室

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808

TEL：0796-21-9012 FAX：0796-42-6112

E-mail：bunkazai@city.toyooka.lg.jp